



Linking your dreams  
リンテック株式会社

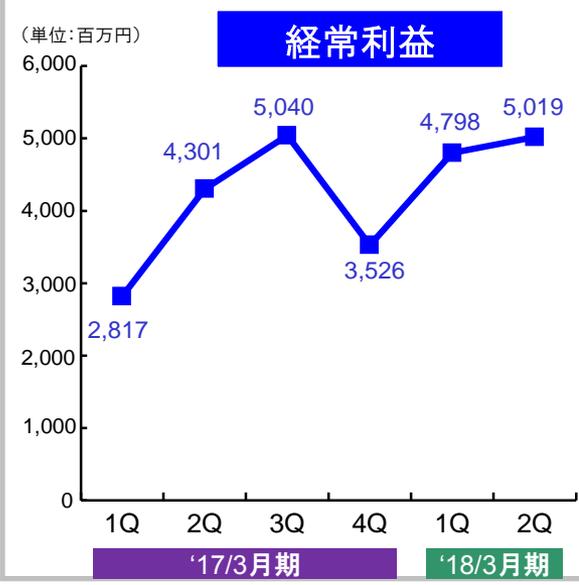
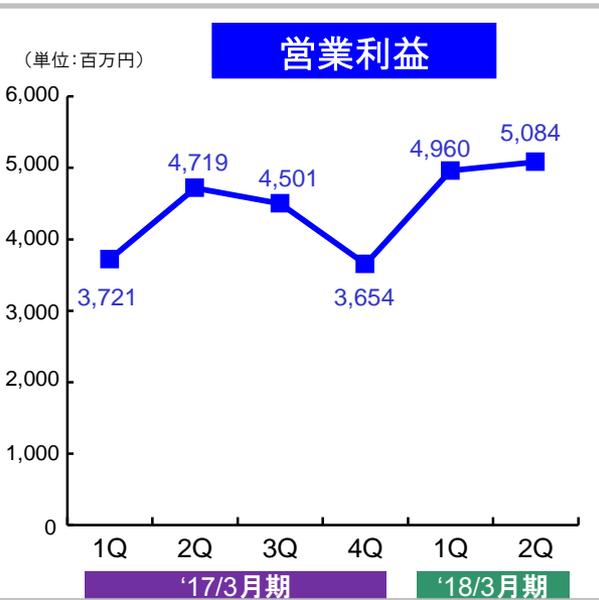
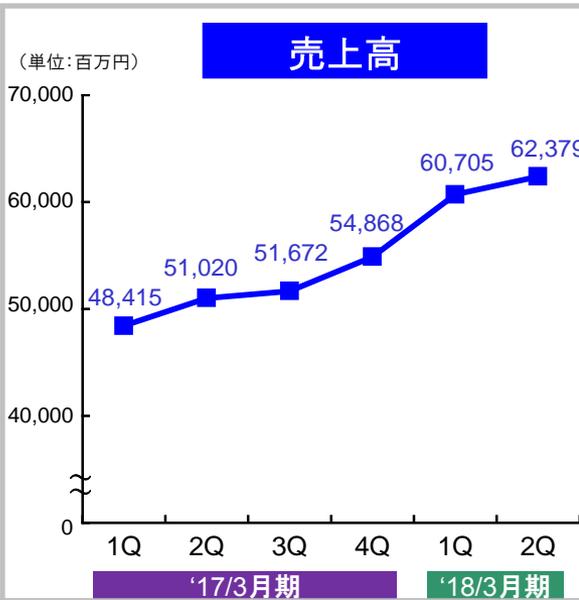
# 2018年3月期第2四半期 決算説明会資料



2017年11月15日  
リンテック株式会社

# 2018年3月期第2四半期 連結業績の概要①

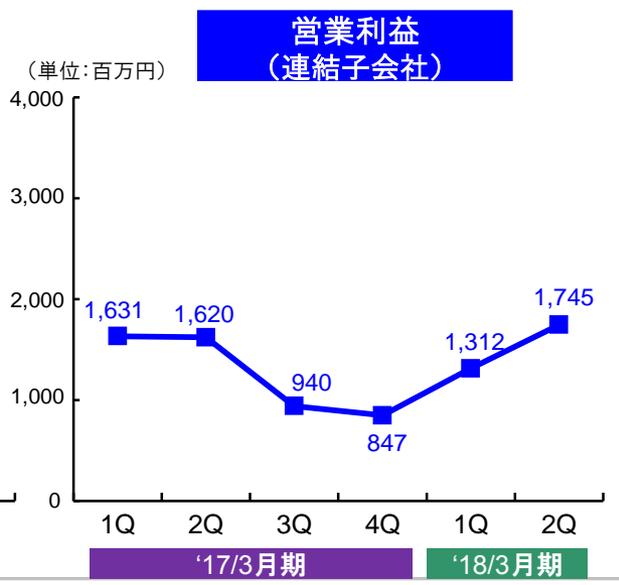
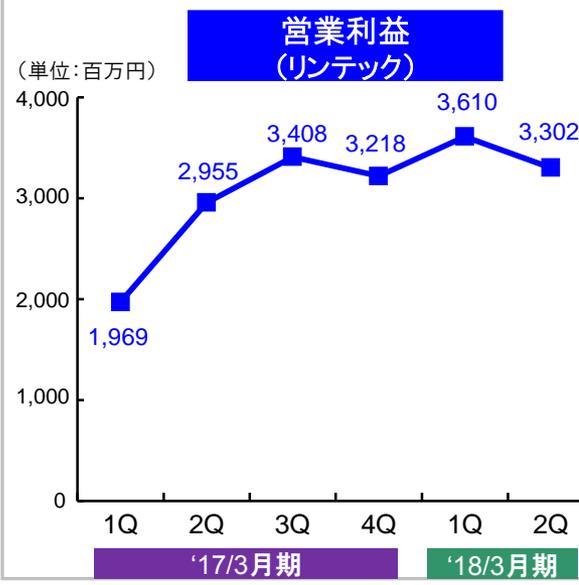
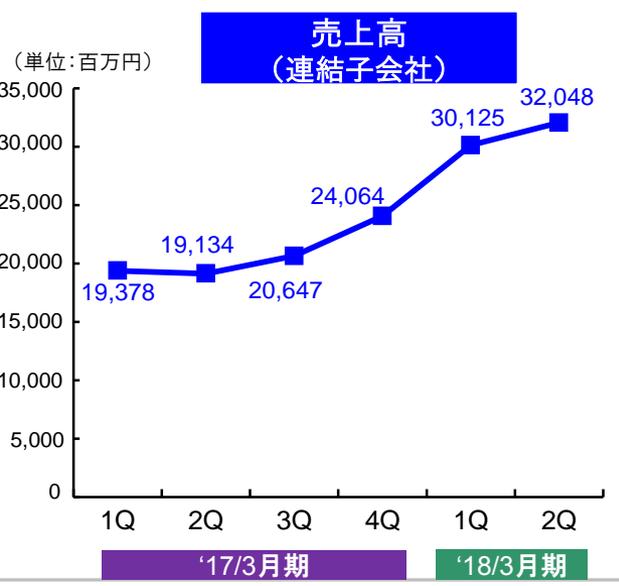
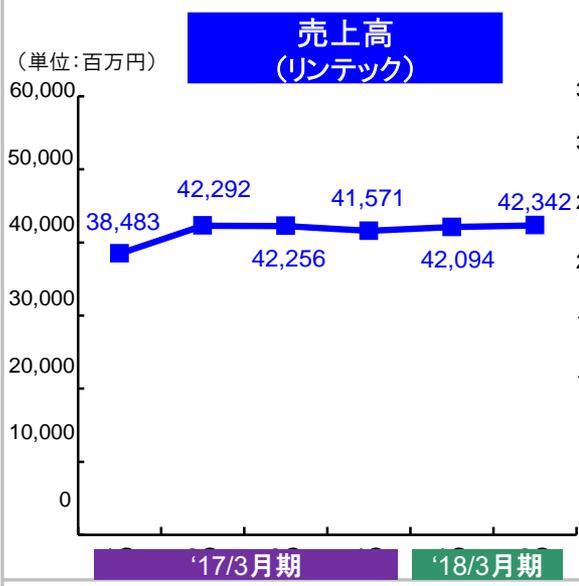
	'17/3月期 第2四半期 累計	'18/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
売上高	99,435	123,084	23,649 (23.8%)
営業利益	8,440	10,044	1,604 (19.0%)
経常利益	7,118	9,817	2,699 (37.9%)
親会社 株主に 帰属する 四半期 純利益	5,125	6,015	890 (17.4%)



# 2018年3月期第2四半期 連結業績の概要②

	'17/3月期 第2四半期 累計	'18/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
<b>売上高</b>			(単位:百万円)
リンテック	80,775	84,436	3,661 (4.5%)
連結子会社	38,512	62,173	23,661 (61.4%)
消去	▲19,852	▲23,525	▲3,673
計	99,435	123,084	23,649 (23.8%)

	'17/3月期 第2四半期 累計	'18/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
<b>営業利益</b>			(単位:百万円)
リンテック	4,924	6,912	1,988 (40.4%)
連結子会社	3,251	3,057	▲194 (▲6.0%)
消去	265	75	▲190
計	8,440	10,044	1,604 (19.0%)



## ➤ 売上高

### ● リンテック単体

産業工材事業部門、オプティカル材事業部門は減少  
アドバンストマテリアルズ事業部門が大幅増加、その他事業部門も堅調に推移

### ● 連結子会社

台湾を中心にアドバンストマテリアルズ事業部門が好調  
昨年末に買収した欧米子会社の売上げが加わる

## ➤ 営業利益

### ● リンテック単体

(増益要因)

販売数量の増加および売上構成の改善	約 25 億円
その他（原価低減効果など）	約 5 億円

(減益要因)

販売単価の下落	約 3 億円
原燃料価格の上昇	約 2 億円
固定費の増加	約 6 億円

### ● 連結子会社

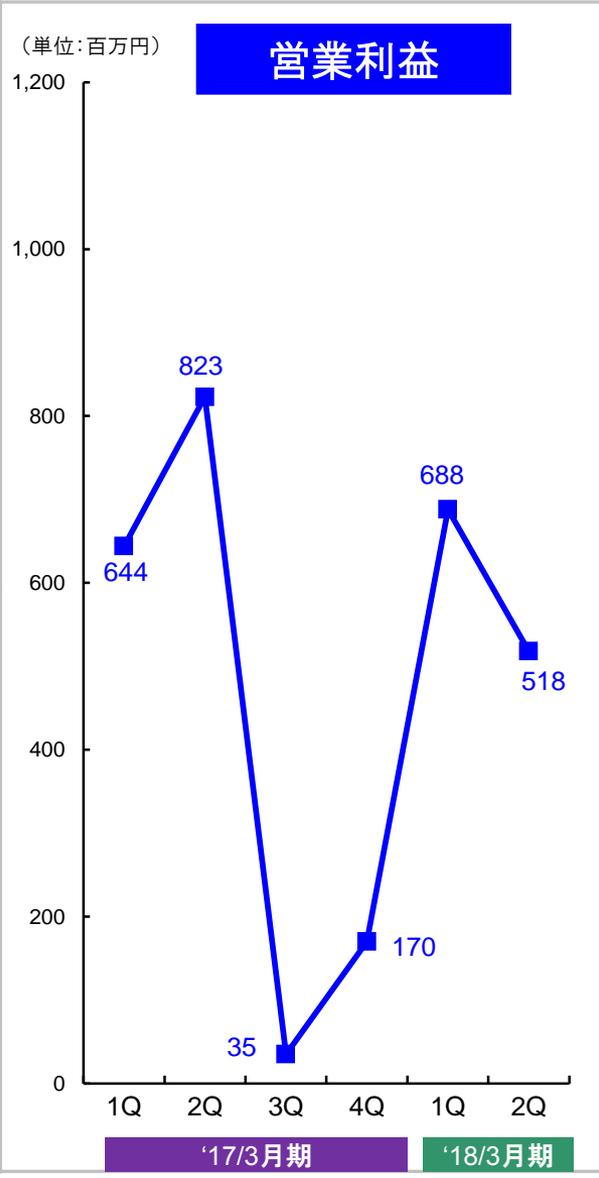
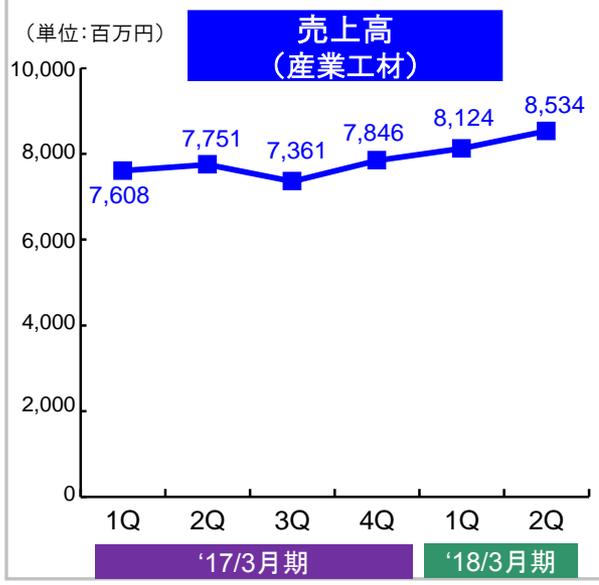
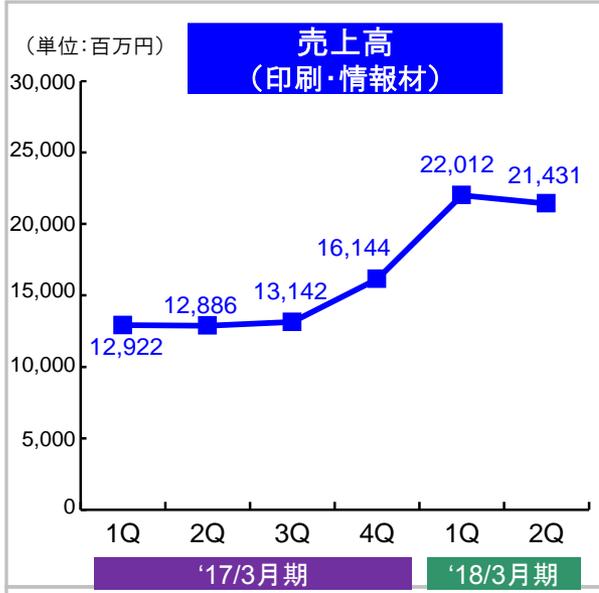
アドバンストマテリアルズ事業関連子会社が順調  
オプティカル材事業関連子会社が売価下落の影響を受ける  
昨年末に買収した米国子会社が営業赤字

【期中平均為替レート(実績)】

	('17/3 2Q)	→	('18/3 2Q)
円/US\$	111.46	→	112.14
円/₱	123.99	→	122.22
円/WON	0.0946	→	0.0989
円/中国元	16.98	→	16.37
円/台湾\$	3.41	→	3.68

# 2018年3月期第2四半期 印刷材・産業工材関連の概要①

	'17/3月期 第2四半期 累計	'18/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
印刷・情報材 事業部門	25,808	43,443	17,635 (68.3%)
産業工材 事業部門	15,359	16,658	1,299 (8.5%)
売上高 合計	41,168	60,102	18,934 (46.0%)
営業利益	1,467	1,206	▲261 (▲17.8%)



## ➤ 印刷・情報材事業部門

国内：粘着紙は食品関連が低調であったものの、物流・通販関連が堅調  
粘着フィルムは飲料用キャンペーンラベルや化粧品などのアイキャッチラベル需要により順調  
海外：アセアン地域において堅調  
昨年末に買収した欧米子会社の売り上げ171億円が加わる

## ➤ 産業工材事業部門

国内は総じて低調  
二輪を含む自動車用粘着製品、ウインドーフィルムがアジア地域において堅調  
昨年末に買収した欧米子会社の売り上げ21億円が加わる

# 2018年3月期第2四半期 電子・光学関連の概要①

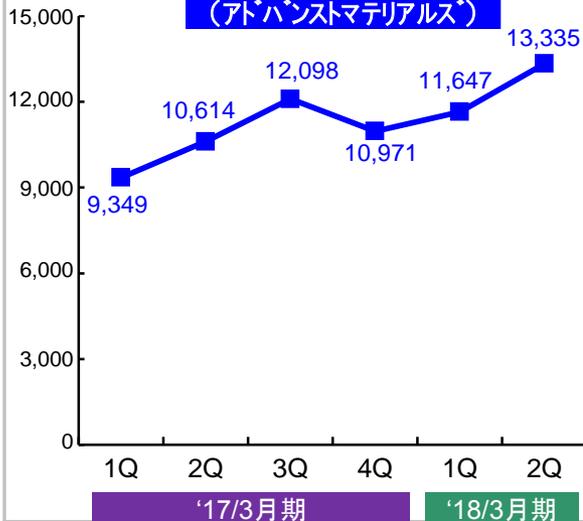
'17/3月期 第2四半期 累計	'18/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	19,963	24,982	5,018 (25.1%)
オプティカル材 事業部門	20,032	18,999	▲1,032 (▲5.2%)
売上高 合計	39,996	43,982	3,985 (10.0%)
営業利益	4,581	6,054	1,472 (32.1%)

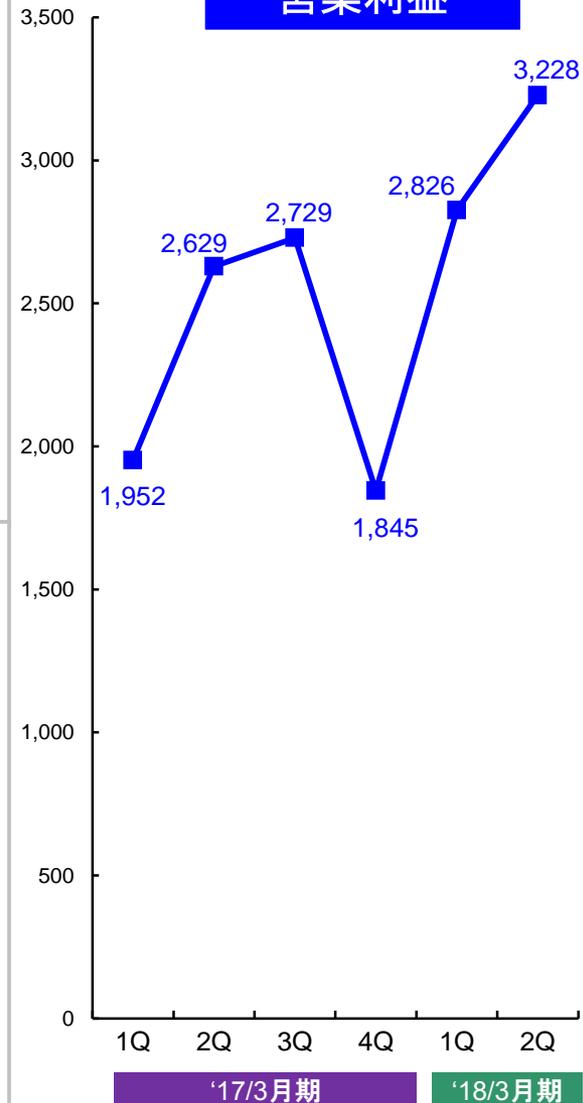
(単位:百万円)

## 売上高 (アドバンスマテリアルズ)



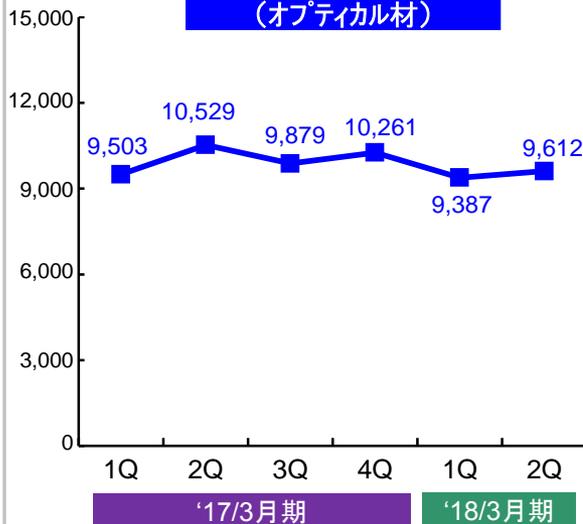
(単位:百万円)

## 営業利益



(単位:百万円)

## 売上高 (オプティカル材)



## ➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープおよび関連装置：スマートフォン用などの需要が好調により大幅増加

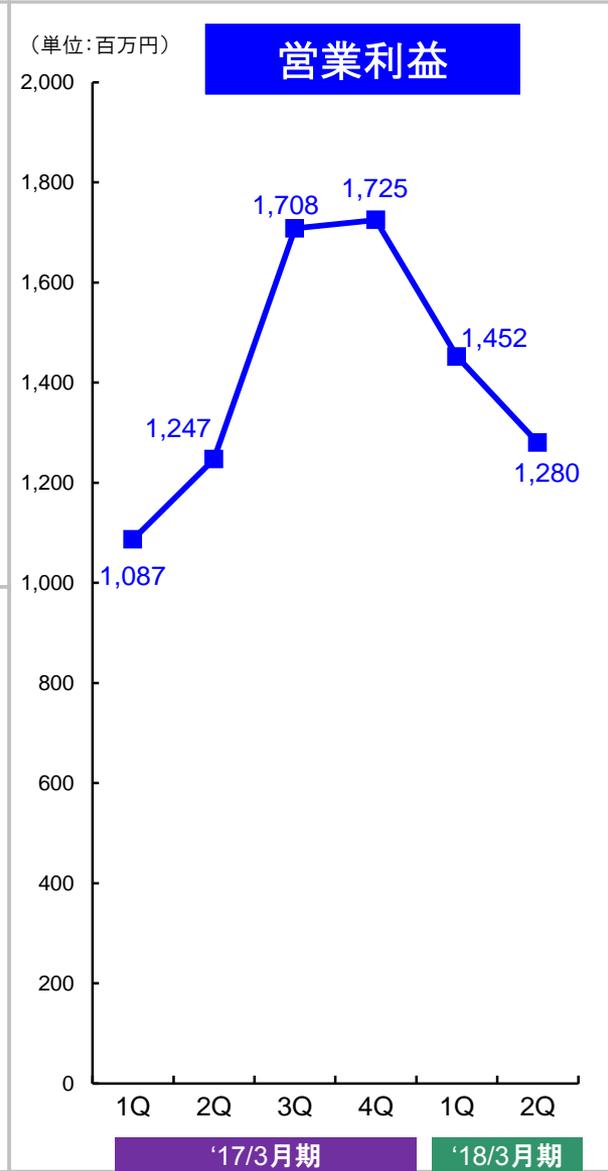
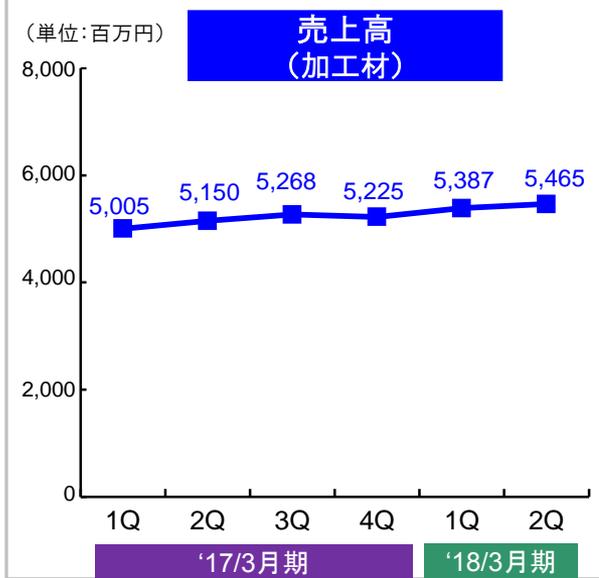
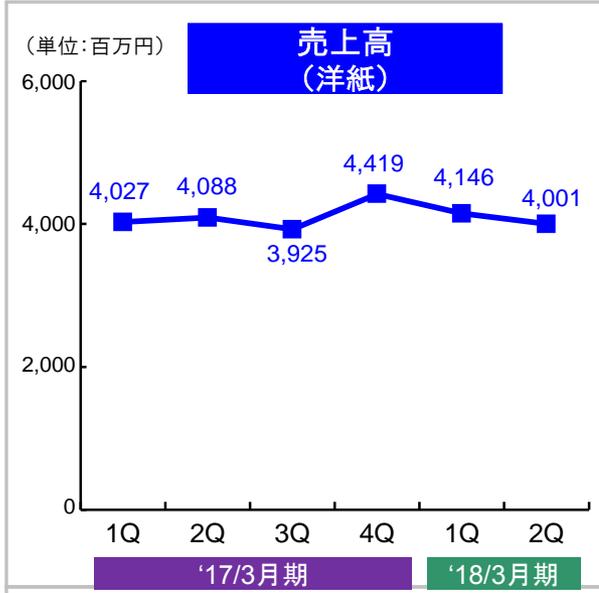
積層セラミックコンデンサ関連テープ：スマートフォン用や自動車用などの需要が好調により増加

## ➤ オプティカル材事業部門

数量は増加したものの、売価下落の影響を受け減少

# 2018年3月期第2四半期 洋紙・加工材関連の概要①

	'17/3月期 第2四半期 累計	'18/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
洋紙 事業部門	8,115	8,147	31 (0.4%)
加工材 事業部門	10,155	10,852	696 (6.9%)
売上高 合計	18,271	18,999	728 (4.0%)
営業利益	2,334	2,732	398 (17.1%)



### ➤ 洋紙事業部門

主力のカラー封筒用紙は低調であったものの、工業用特殊紙や耐油紙などが堅調

### ➤ 加工材事業部門

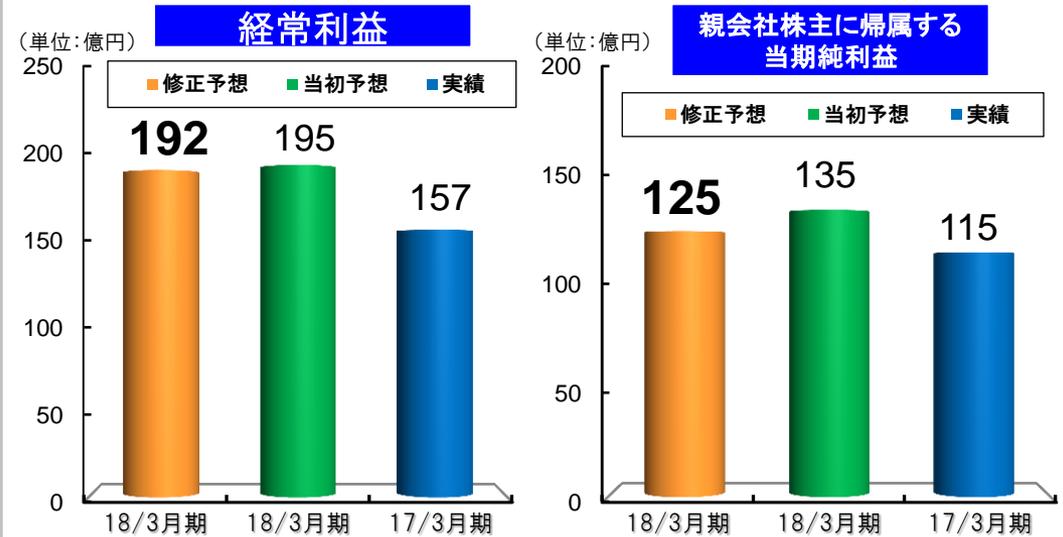
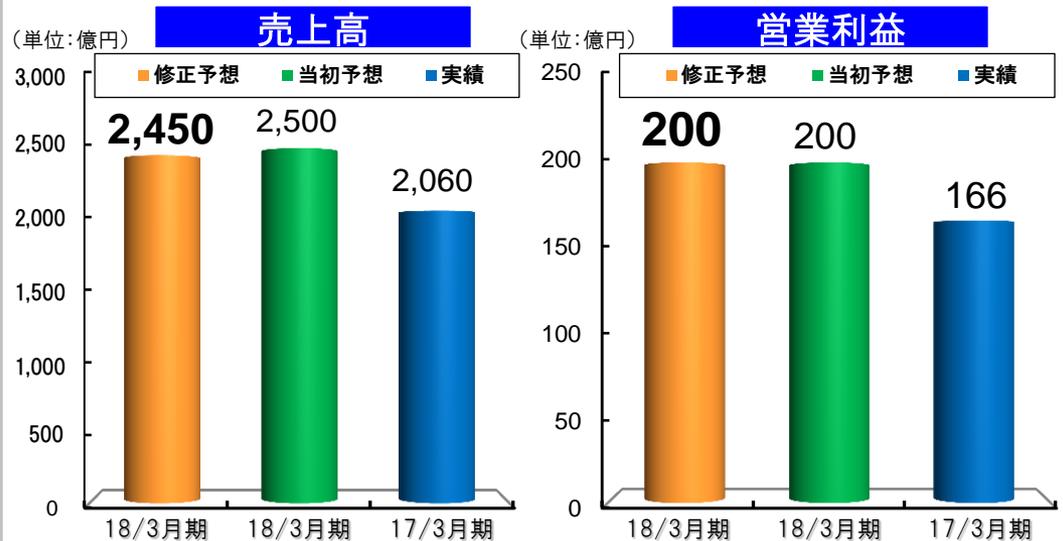
FPCカバーレイ用剥離紙、光学関連製品用剥離フィルム、合成皮革用工程紙が好調  
炭素繊維複合材料用工程紙はレジヤー用を中心に堅調

# 2018年3月期通期 連結業績予想①

	'18/3月期 修正予想	'18/3月期 当初予想	差異	(参考) '17/3月期 実績
売上高	2,450	2,500	▲50	2,060
営業利益	200	200	—	166
経常利益	192	195	▲3	157
親会社株主に 帰属する 当期純利益	125	135	▲10	115

【通期想定為替レート】

	'18/3月期 修正	'18/3月期 当初	'17/3月期 実績
円/US\$	112.00	110.00	109.27
円/1-円	127.00	123.20	120.45
円/WON	0.0990	0.0990	0.0941
円/中国元	16.60	16.70	16.38
円/台湾\$	3.70	3.50	3.39

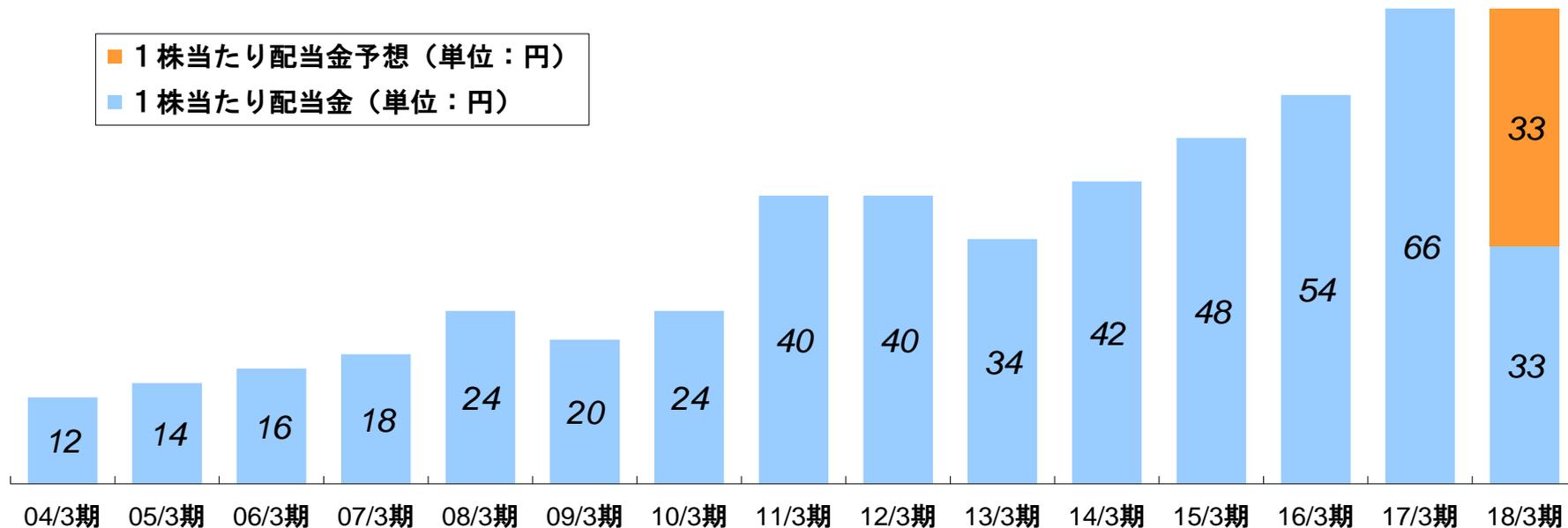


# 2018年3月期通期 連結業績予想②

(単位:億円)	'18/3月期 修正予想	'18/3月期 当初予想	差異	'17/3月期 実績	当初予想からの変動要因
売上高	2,450	2,500	▲50	2,060	
印刷材・産業工材関連	1,221	1,252	▲31	857	
印刷・情報材事業部門	877	886	▲9	551	単体で粘着紙、粘着フィルムが堅調に推移するものの、中国などで当初予想までには至らず減額
産業工材事業部門	344	366	▲22	306	アセアン地域で二輪を含む自動車用粘着製品が堅調に推移するものの、米国子会社が当初予想を下回り減額
電子・光学関連	853	868	▲15	832	
アドバンストマテリアルズ事業部門	491	470	21	430	下期も堅調に推移すると見ており増額
オプティカル材事業部門	362	398	▲36	402	売価下落の影響、大型テレビ用が低調な推移となり減額
洋紙・加工材関連	376	380	▲4	371	
洋紙事業部門	165	170	▲5	165	主力のカラー封筒用紙が低調な推移となり減額
加工材事業部門	211	210	1	206	当初予想は確保できる見込み
営業利益	200	200	—	166	
印刷材・産業工材関連	35	48	▲13	17	米国、インドネシア子会社の業績が当初予想を下回る見込み
電子・光学関連	114	94	20	91	アドバンストマテリアルズ事業部門が好調に推移
洋紙・加工材関連	51	58	▲7	58	パルプ価格上昇の影響を受け当初予想を下回る見込み

## (基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	72.8	136.2	86.4	76.8	85.0	116.6	109.0	114.5	125.0
1株当たり当期純利益(円)	96.36	180.21	115.26	102.83	114.22	161.63	151.07	158.69	173.25
連結配当性向(%)	24.9	22.2	34.7	33.1	36.8	29.7	35.7	41.6	38.1

# ご清聴ありがとうございました

## 本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。